

予算特別委員会の審査

市会が13年度予算に付けた付帯決議【要旨】

- 【一般会計】
- 2信用金庫の破たんは地元中小企業にとって深刻である。金融機関などと緊密な連携を取り、倒産防止にあらゆる対策を講じること。(全会一致)
 - 京都新世紀市政改革大綱に基づき財政改革を一層強力に推進し、基本計画の執行管理に当たること。(賛成多数)
 - 観光振興推進計画の推進のため強力な全庁体制で取り組むこと。特に観光シーズンの交通渋滞問題等の解決に全力を傾けること。(全会一致)
 - 敬老乗車証については、市中心部近郊地域の対象者との不公平感の解消をはじめ見直しの声がある。

2月定例会では、提案された19件の予算案などを慎重に審査するため、3月1日に2つの予算特別委員会を設置しました。普通予算特別委員会には、13年度一般会計予算など予算案14件と各予算の関連議案12件を、また公営企業予算特別委員会には、病院、水道、公共下水道、自動車運送(バス)、高速鉄道(地下鉄)の13年度予算案5件をそれぞれ付託し、各委

員会において、局別の質疑や市長・副市長に対する総括質疑を行うなどの審査を行い、3月23日の本会議で各委員長から審査の経過と結果を報告しました。報告の後、付託議案の議決が行われ、すべて委員長報告のとおり、原案どおり可決されました。また、13年度一般会計予算などに付けた付帯決議は次のとおりです。

より公平性が確保される敬老乗車証の在り方について検討すること。(賛成多数)

- 地球温暖化防止に向けた強力な推進体制の確立と共に、幅広い広報活動の展開など、市民、事業者への取組がより強化されるよう最大限の努力を払うこと。(全会一致)
- ITへの対応については、景気対策などと合わせ、新時代の生活スタイルに対応した市民サービスの向上、特に市民に対するIT講習会等を更に充実させIT革命の推進を図っていくこと。(賛成多数)

【公共下水道事業特別会計】
集中豪雨時の浸水被害の防除などのために、雨水管の口径を大きくしなければならぬことが莫大な費用投下の最大要因となっている。しかし、そこには、地表面のコンクリート・アスファルト化により、雨水のほとんどすべてが下水道を通して河川に放流されているという事実がある。

【国民健康保険事業特別会計】
国民健康保険の事業運営については、一般会計からの繰入額は過去

最高の135億円となっており、被保険者の負担は増額し、市民生活への影響も大きくなる。

国庫負担の増額と医療健康保険制度の抜本的改革の断行を国に強く求めるとともに、医療費の適正化対策に更に取り組み、保険料負担の抑制に努めること。(賛成多数)

事業別に受動的な結果対策を講じるのではなく、その要因を除去、減少させるための方策を市の基本政策として、関係する全部局間で、研究、検討する体制を確立すること。(全会一致)

【自動車運送事業特別会計】

- 乗客の利便性向上と、市内交通ネットワークを十分に考慮した、より適正な運賃制度となるよう、抜本的な見直しを早急に検討すること。(賛成多数)
- 最近のバス事業の事故・事件の多発は、市民の信頼を著しく損ねるもので誠に遺憾だ。事故防止に全力で取り組み、信頼回復に努めること。(全会一致)

常任委員会の審査



委員会室

常任委員会は3月15、16、22日に開き、付託された議案や請願の審査、所管局の事務の調査などを行いました。付託議案の審査の経過と結果については、23日の本会議でそれぞれの委員長から報告を行い、すべて委員長報告のとおり、原案どおり可決されました。このうち文教委員会に付託された、体育館条例の全部改正案、西京極総合運動公園条例の一部改正案及び都市公園条例の一部改正案については、これらの施設の管理の委託に関する付帯決議を付けました。

市会が体育館条例(全部改正)等に付けた付帯決議【要旨】

運動公園等の管理を京都市体育協会に委託することは、協議が十分に整わない中で唐突な提案と言わざるを得ない。今回の提案は、一部選考採用職員による現場での対応が市民サービスの向上に結び付くとは考えにくく、また、経費の圧縮方法なども極めて不明瞭であり、適切なものとは言い難い。市民サービスの向上対策や人件費の在り方など、財政的な効果を上げるような取組に不退転の決意で臨むこと。(賛成多数)

新しい委員が決まりました

3月23日の本会議で、市会の円滑な運営を図る市会運営委員会、議案や請願・陳情を専門的かつ慎重に審査する常任委員会などの各委員の改選を行いました。また、特定の問題を審査・調査する特別委員会を設置し、各委員を選任しました。新しい構成は次のとおりです。

議長 二之湯 智(自民・右)
副議長 今枝 徳蔵(民み・下)

市会運営委員会(15人)

井上与一(自民・右)	中村三之助(自民・上)	石黒 利雄(民み・伏)
山中 渡(共産・下)	橋村 芳和(自民・伏)	小林あきろう(民み・上)
鈴木マサホ(民み・左)	井坂 博文(共産・北)	久保 省二(公明・西)
伊藤 義浩(自民・下)	倉林 明子(共産・中)	大道 義彰(公明・南)
大西 均(自民・左)	せのお直樹(共産・西)	山口 勝(公明・伏)

市会選出監査委員

川中増次郎(自民・山)
可児 達志(公明・右)

常 任 委 員 会		
財政総務委員会(13人)	文教委員会(13人)	厚生委員会(13人)
山口 勝(公明・伏)	橋田 知雄(自民・南)	せのお直樹(共産・西)
加地 浩(自民・北)	安孫子知子(民み・中)	橋村 芳和(自民・伏)
井坂 博文(共産・北)	竹内 譲(公明・上)	柴田 章喜(公明・左)
井上与一郎(自民・右)	田中セツ子(自民・南)	磯辺 寿子(自民・東)
加藤 盛司(自民・中)	津田 幹雄(自民・中)	繁 隆夫(自民・伏)
西脇 尚一(自民・下)	中村三之助(自民・上)	中村 安良(自民・西)
河上 洋子(共産・下)	巻野 渡(自民・左)	井上けんじ(共産・南)
佐藤 和夫(共産・伏)	倉林 明子(共産・中)	藤原 冬樹(共産・右)
山中 渡(共産・下)	玉本なるみ(共産・北)	森 ます子(共産・山)
今枝 徳蔵(民み・下)	東山 洋子(共産・東)	鈴木マサホ(民み・左)
山口 幸秀(民み・山)	山本 正志(共産・左)	砂川 祐司(民み・伏)
中西 正三(公明・中)	小林あきろう(民み・上)	井上 教子(公明・下)
日置 文章(公明・北)	大道 義彰(公明・南)	富 きくお(京21・山)
建設消防委員会(13人)		
宮本 徹(民み・右)	北川 明(自民・西)	宇都宮壮一(民み・右)
青木 善男(自民・左)	北山ただお(共産・山)	梅林 等(民み・南)
中村かつみ(共産・中)	石黒 利雄(民み・伏)	中村 十一(民み・左)
川中増次郎(自民・山)	伊藤 義浩(自民・下)	久保 省二(公明・西)
田中 英之(自民・右)	内海 貴夫(自民・東)	高嶋 弘恵(公明・山)
中野 竜三(自民・左)	大西 均(自民・左)	谷口 弘昌(公明・伏)
有吉 節子(共産・左)	国枝克一郎(自民・上)	安井 勉(京21・伏)
加藤広太郎(共産・右)	高橋泰一朗(自民・伏)	
坂口 芳治(共産・伏)	二之湯 智(自民・右)	
天方 晶英(民み・西)	岩橋ちよみ(共産・右)	
小川ひろき(民み・北)	西野さち子(共産・伏)	
可児 達志(公明・右)	三宅 誠孝(共産・左)	
中西 賢治(公明・伏)	若宮 修(共産・北)	

特 別 委 員 会			
議員定数等特別委員会(18人)	市政改革推進等特別委員会(18人)	観光振興等特別委員会(18人)	都市基盤整備促進特別委員会(18人)
田中セツ子	中村 十一	佐藤 和夫	久保 省二
坂口 芳治	中村三之助	西脇 尚一	田中 英之
砂川 祐司	山本 正志	井上 教子	天方 晶英
加地 浩	青木 善男	磯辺 寿子	伊藤 義浩
河上 明	井上与一郎	加藤 盛司	内海 貴夫
国枝克一郎	大西 均	津田 幹雄	川中増次郎
高橋泰一朗	橋村 芳和	中野 竜三	繁 隆夫
二之湯 智	橋田 知雄	巻野 渡	中村 安良
せのお直樹	井坂 博文	有吉 節子	井上けんじ
三宅 誠孝	倉林 明子	岩橋ちよみ	加藤広太郎
森 ます子	玉本なるみ	河上 洋子	北山ただお
若宮 修	西野さち子	東山 洋子	中村かつみ
小川ひろき	石黒 利雄	山中 渡	藤原 冬樹
鈴木マサホ	梅林 等	安孫子知子	宇都宮壮一
大道 義知	山口 幸秀	今枝 徳蔵	宮本 徹
谷口 弘昌	柴田 章喜	小林あきろう	可児 達志
中西 賢治	竹内 譲	高嶋 弘恵	山口 勝
富 きくお	日置 文章	中西 正三	安井 勉
普通及び公営企業予算・決算特別委員会			
普 通	公 営 企 業	委員長 副委員長 理事 団長(京都市21市会議員クラブは「代表」) 副団長	
繁 隆夫	三宅 誠孝	自民=自由民主党京都市議員団	
加藤 盛司	内海 貴夫	共産=日本共産党京都市議員団	
有吉 節子	宇都宮壮一	民み=民主・都みらい京都市議員団	
小林あきろう		公明=公明党京都市議員団	
柴田 章喜		京21=京都市21市会議員クラブ	

会派の正副団長・代表
自由民主党 京都市会議員団(24人) TEL. 222-3718
中村 安良 内海 貴夫
日本共産党 京都市会議員団(21人) TEL. 222-3728
若宮 修 坂口 芳治 藤原 冬樹 河上 洋子
民主・都みらい 京都市会議員団(13人) TEL. 222-3724
山口 幸秀 天方 晶英
公 明 党 京都市会議員団(12人) TEL. 222-3732
中西 賢治 日置 文章
京 都 21 市会議員クラブ(2人) TEL. 222-3739
富 きくお